

平成29年11月10日
国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所

～災害時における UAV の活用体制を確保するために～
国土地理院等も参加し、「UAV 操縦者の育成訓練」を実施します。

熊本地震（平成28年4月）や九州北部豪雨（平成29年7月）の被災現場では、九州地方整備局、国土地理院等の無人航空機（UAV）が被災状況の早期把握や情報提供等にその効果を発揮し、有効性が示されたことから、四国地方整備局においても近々に発生が想定される南海トラフ巨大地震等の災害に対応する体制を確保する為に、UAVの操作訓練を実施します。

1. 実施日時 平成29年11月14日(火) 9:40～12:00
2. 実施場所 国営讃岐まんのう公園 ドラ夢広場及び多目的広場
香川県仲多度郡まんのう町吉野 4243-12
詳細は、別紙-2参照
3. 参加機関
 - ・四国地方整備局
 - ・国土地理院四国地方測量部
 - ・防災エキスパート20名程度
4. 訓練内容 無人航空機に関する知識及び操縦技術を習得するための訓練
詳細は、別紙-1参照
5. その他 当日の取材を希望される場合は、国営讃岐まんのう公園が、休園日のため、事前に問い合わせ先に連絡をお願いします。
※同日公園内において、11:00-12:00 の予定で「放置車両等の移動訓練」も開催されています。（11月10日香川河川国道事務所記者発表）

本施策は、四国地震防災基本戦略及び四国圏広域地方計画の「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」に該当します。

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 TEL087-845-3135（代表）

◎：主な問い合わせ先

四国技術事務所 副所長

二川 義人 内線204

◎施工調査・技術活用課長

渡部 勇 内線381

大規模災害に備え、無人航空機（UAV）の操作訓練を実施

1. 訓練内容

① 目的

熊本地震（平成28年4月）や九州北部豪雨（平成29年7月）の被災現場では、九州地方整備局、国土地理院等のUAVが被災状況の早期把握や情報提供等にその効果を発揮し、有効性が大いに示されたことから、四国地方整備局においても近々に発生が想定される南海トラフ巨大地震等の災害に対応する体制を確保する為に、四国地方整備局の職員を対象に、UAVに関係する知識及び操縦技術の習得を目的として定期的に開催する計画である。今回は、大規模災害時の連携を考慮して、国土地理院職員及び防災エキスパートと合同で訓練を実施します。

② 参加者

四国地方整備局職員

国土地理院職員

四国地方整備局と災害協定を締結している防災エキスパート

③ 実施内容

- ・ 国土地理院ランドバードによる実践的なデモフライト
- ・ 無人航空機（Phantom4 Pro、Phantom3 Professional）による操縦訓練
- ・ 小型無人航空機（200g未満）による操縦訓練

2. 使用機体

- ・ DJI社製 Phantom4 Pro（四国地方整備局、防災エキスパート）
- ・ DJI社製 Phantom3 Professional（国土地理院）



機体重量：約 1.4 kg

最大飛行時間：約 30分

写真はPhantom4 pro（四国地方整備局保有）

平成29年7月 九州北部豪雨でのUAVによる被災状況調査 (九州地方整備局HPより)

TEC-FORCEのドローン部隊を投入①

○ H29.7.7 (金) 大分県日田市小野地区で発生した斜面の崩壊を調査するため、九州地方整備局 TEC-FORCEのドローン飛行部隊を現地に派遣。



▲ 離陸前のドローンの点検準備



監視者

操縦者

現地空撮調整官

▲ ドローンの操作監視



▲ ドローンが離陸し崩壊箇所へ急行



【ドローン空撮】

▲ 斜面崩壊箇所を調査 (日田市小野地区)

TEC-FORCEのドローン部隊を投入②

○ H29.7.13 (木) 国土交通省と福岡県が合同調査チームを結成。TEC-FORCEのドローン部隊を投入し、上空から流木の堆積状況を調査した。



▲ 合同チームで赤谷川等の流木調査を実施



現地空撮調整官

操縦者

監視者

▲ ドローンの操作監視



▲ ドローンが離陸し崩壊箇所へ急行



【ドローン空撮】

▲ 流木堆積状況を調査 (朝倉市山田地区)